



SA88-6893-00
(英文原典 : 08K8850)

ThinkPad 240

ステップ・アップ・ガイド 補足版



SA88-6893-00
(英文原典 : 08K8850)

ThinkPad 240

ステップ・アップ・ガイド 補足版

注

本書および本書でサポートされている製品をご使用になる前に、15ページの付録A、『特記事項』を必ずお読みください。

第 1 版 (1999 年 10 月)

本書において、日本では発表されていないIBM製品（機械およびプログラム）、プログラミング、およびサービスについて言及または説明する場合があります。しかし、このことは、IBMがこのようなIBM製品、プログラミング、およびサービスを、必ずしも日本で発表する意図であることを示すものではありません。

原 典： 08K8850
ThinkPad 240 User's Reference Supplement
発 行： 日本アイ・ビー・エム株式会社
担 当： ナショナル・ランゲージ・サポート

第1刷 1999.9

© Copyright International Business Machines Corporation 1999. All rights reserved.

Translation: © Copyright IBM Japan 1999

第1章 Windows ソフトウェアのインストール	1
オペレーティング・システムとデバイス・ドライバのインストール	2
Windows 98 Second Edition および ThinkPad サポート・ソフトウェアのインストール	3
全体的な手順	3
Microsoft Windows 98 Second Edition のインストール	4
Windows 98 用の ThinkPad サポート・ソフトウェアのインストール	6
付録A. 特記事項	15
西暦 2000 年対応および説明	15
商標	16
Electronic emission notices	16
Telecommunication notice	17
Industry Canada requirements	19

第1章 Windows ソフトウェアのインストール

オペレーティング・システムとデバイス・ドライバーのインストール	2
Windows 98 Second Edition および ThinkPad サポート・ソフトウェアのインストール	3
全体的な手順	3
Microsoft Windows 98 Second Edition のインストール	4
Windows 98 用の ThinkPad サポート・ソフトウェアのインストール	6
Windows 98 用「ThinkPad 機能設定」プログラムのインストール	7
Windows 98 用ディスプレイ・ドライバーのインストール	8
Windows 98 用オーディオ・デバイス・ドライバーのインストール	9
Windows 98 用 IBM トラックポイント・ドライバーのインストール	10
Windows 98 用内蔵モデム・ソフトウェアのインストール	11
Windows 98 用 IBM 3 モード・フロッピー・ディスク・ドライバーのインストール	12
Windows 98 用ハイパーネーション・ユーティリティ (PhDskWin) のインストール	13

注: この補足版は、Windows 98 Second Edition オペレーティング・システムおよび必要なソフトウェアのインストール手順を記載しています。

オペレーティング・システムとデバイス・ドライバーのインストール

ThinkPad に新しいオペレーティング・システムをインストールする場合は、同時に ThinkPad デバイス・ドライバーをインストールする必要があります。

ThinkPad は、次のオペレーティング・システムをサポートしています。

- Microsoft Windows 98 Second Edition ➡ 3ページの『Windows 98 Second Edition および ThinkPad サポート・ソフトウェアのインストール』
- Microsoft Windows 98 ➡ ステップ・アップ・ガイド
- Microsoft Windows 95 ➡ ステップ・アップ・ガイド
- Microsoft Windows NT バージョン 4.0 ➡ ステップ・アップ・ガイド

Windows 98 Second Edition および ThinkPad サポート・ソフトウェアのインストール

ここでは、導入済みアプリケーション CD を使って、Windows 98 Second Edition と ThinkPad 用ソフトウェアをインストールする手順を説明します。

注: Windows 98 インストール CD を使用して Windows 98 Second Edition をインストールする場合には、ThinkPad 240 に CD-ROM ドライブを接続する必要があります。

注: リカバリー CD から初期インストール済みオリジナル・イメージを復元することによって、Windows 98 をインストールすることもできます。ユーザーズ・リファレンスを参照してください。

全体的な手順

1. Windows 98 インストール・パッケージを用意します。Windows 98 の CD-ROM がない場合は、リカバリー CD を使ってシステムを工場出荷時の状態に復元することができます。ユーザーズ・リファレンスの『削除されたソフトウェアまたは損傷したソフトウェアの回復』を参照してください。
2. 外付けフロッピー・ディスク・ドライブを接続します。ユーザーズ・リファレンスの『外付け FDD ドライブの接続』を参照してください。
3. 外付け CD-ROM ドライブを接続します。ユーザーズ・リファレンスの『外付け CD-ROM ドライブの接続』を参照してください。
4. ハード・ディスクにあるソフトウェアと必要なデータ・ファイルのバックアップを作成します。
5. 初期インストール済み Windows から、次のようにして起動ディスクを作成します。
 - a. タスクバーの「スタート」から、「設定」、「コントロール パネル」の「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックします。
 - b. 「起動ディスク」タブをクリックします。
 - c. 画面の指示に従います。
6. ご使用になる CD-ROM ドライブの説明書をよく読んで起動ディスクに変更を加え、その CD-ROM ドライブにアクセスできるようにします。
7. Windows 98 と ThinkPad サポート・ソフトウェアをインストールします。

次のソフトウェアは、導入済みアプリケーション CD からインストールします。

- 「ThinkPad 機能設定」プログラム
- ディスプレイ・ドライバー
- オーディオ・デバイス・ドライバー
- トラックポイント・ドライバー
- 内蔵モデム・ソフトウェア
- フロッピー・ディスク・ドライバー
- ハイパーネーション・ユーティリティー

Microsoft Windows 98 Second Edition のインストール

注: C ドライブ以外のドライブに Windows 98 をインストールする場合でも、C ドライブ上に少なくとも 25 MB の空き容量が必要です。

ThinkPad 240 用の新しいデバイスには、一般に販売されている Windows 98 ではサポートされないものがあります。また、新しいファイルには、インストール時に組み込まなければならないものがあります。

Microsoft Windows 98 Second Edition の CD-ROM がない場合

リカバリー CD から初期インストール済みオリジナル・イメージを復元することによってシステムを工場出荷時の状態に回復することができます。ユーザーズ・リファレンスの『削除されたソフトウェアまたは損傷したソフトウェアの回復』を参照してください

Microsoft Windows 98 Second Edition の CD-ROM がある場合

次の手順を実行します。

1. CD-ROM ドライブを ThinkPad 240 に接続します。ユーザーズ・リファレンスの『外付け CD-ROM ドライブの接続』を参照してください。
2. FDD ドライブを ThinkPad 240 に接続します。ユーザーズ・リファレンスの『外付け FDD ドライブの接続』を参照してください。
3. あらかじめ用意した起動ディスクを使って、ThinkPad を DOS モードで起動します。
4. Windows 98 CD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入します。
5. ハードディスクに、キャビネット・ファイルとインストール・プログラムを格納できる十分なスペースがあることを確認します。
6. 一時ディレクトリーを作成します。

たとえば、DOS プロンプトで次のように入力して、[Enter] キーを押します。

```
MD C:¥WIN98
```

7. Windows 98 CD-ROM の ¥WIN98 ディレクトリーから、すべてのキャビネット (.CAB) ファイルとインストール・プログラムをステップ 6 (4ページ) で作成したディレクトリーにコピーします。

たとえば、DOS プロンプトで次のように入力して、[Enter] キーを押します。

```
COPY src_cd:¥WIN98¥*. * tgt_drv:¥tgt_dir
```

ただし、src_cd は CD-ROM ドライブのドライブ名を示し、tgt_drv:tgt_dir はステップ 6 (4ページ) で作成した一時ディレクトリーを示します。

8. ステップ 6 (4ページ) で作成した一時ディレクトリーのプロンプトで SETUP.EXE と入力し [Enter] キーを押して、オペレーティング・システムのインストールを開始します。
9. Windows 98 に付属の説明書と画面に表示される指示に従って、インストールを完了します。

注: Windows 98 と一緒にオプションとしてインストールするアプリケーションによって、必要となるディスク・スペースは異なります。

Windows 98 用の ThinkPad サポート・ソフトウェアのインストール

注: ソフトウェアおよびデバイス・ドライバーが、CD で提供されています。導入済みアプリケーション CD を使用するには、ThinkPad 240 に CD-ROM ドライブを接続する必要があります。ご使用の CD-ROM ドライブの説明書に従って、CD-ROM ドライブのデバイス・ドライバーをインストールしてください。

Windows 98 Second Edition をインストールした後、CD-ROM ドライブが使用できるようになったら、ThinkPad サポート・ソフトウェアのインストールが必要です。

ここでは、次のサポート・ソフトウェアのインストール手順について説明します。

ThinkPad サポート・ソフトウェア	役割
「ThinkPad 機能設定」プログラム	ThinkPad の構成を設定します。
ディスプレイ・ドライバー	画面表示を行います。
オーディオ・デバイス・ドライバー	オーディオ・システムを制御します。
トラックポイント・ドライバー	トラックポイントを制御します。
内蔵モデム・ソフトウェア	モデムを制御します。
フロッピー・ディスク・ドライバー	1.2 MB ディスケットをアクセス可能にします。
ハイパーネーション・ユーティリティ	ハイパーネーション・ファイルの作成/削除機能を提供します。

Windows 98 用「ThinkPad 機能設定」プログラムのインストール

Windows 98 用「ThinkPad 機能設定」プログラムをインストールする手順は、次のとおりです

1. Windows 98 を起動します。
2. CD-ROM ドライブに「導入済みアプリケーション CD」を挿入します。
「アプリケーションインストーラ」メインウィンドウが表示された場合は、これを終了してください。
3. タスクバーの「スタート」をクリックします。
4. 「ファイル名を指定して実行」をクリックします。
5. src_cd:¥drivers¥utilw9x¥setup と入力し、「OK」ボタンをクリックします。
(src_cd は、CD-ROM ドライブを示します。)
6. 「よろこそ」ウィンドウで「次へ」ボタンをクリックします。
画面の指示に従います。インストールが終了したら、システムを再起動します。

Windows 98 用ディスプレイ・ドライバーのインストール

Windows 98 用 ThinkPad ディスプレイ・ドライバーをインストールする手順は、次のとおりです。

1. Windows 98 を起動します。
2. CD-ROM ドライブに「導入済みアプリケーション CD」を挿入します。
「アプリケーションインストーラ」ウィンドウが表示された場合は、これを終了してください。
3. タスクバーの「スタート」から、「設定」、「コントロール パネル」の順にクリックします。
4. 「画面」アイコンをダブルクリックし、「設定」タブを選択します。
5. 「詳細」ボタンをクリックし、「アダプタ」タブを選択します。
6. 「変更」ボタンをクリックします。
7. 「デバイス ドライバの更新ウィザード」で、「次へ」ボタンをクリックします。
8. 「現在使用しているドライバよりさらに適したドライバを検索する (推奨)」を選択し、「次へ」ボタンをクリックします。
9. 「検索場所の指定」にチェックを付けます。
10. src_cd:¥drivers¥videow9x と入力し、「次へ」ボタンをクリックします。
(src_cd は、CD-ROM ドライブを示します。)
11. 「デバイスドライバの更新ウィザード」で「**NeoMagic MagicGraph 128XD**」が選択されているのを確認し「次へ」ボタンをクリックします。
12. 「完了」ボタンをクリックします。
13. 設定を有効にするために、システムを再起動します。

Windows 98 用オーディオ・デバイス・ドライバーのインストール

Windows 98 用オーディオ・デバイス・ドライバーをインストールする手順は、次のとおりです。

1. Windows 98 を起動します。
2. CD-ROM ドライブに「導入済みアプリケーション CD」を挿入します。
「アプリケーション インストーラ」ウィンドウが表示された場合は、これを終了してください。
3. タスクバーの「スタート」から、「ファイル名を指定して実行」をクリックします。
4. src_cd:¥drivers¥audiow9x¥setup.exe と入力し、「OK」ボタンをクリックします。
(src_cd は、CD-ROM ドライブを示します。)
5. 「次へ」ボタンをクリックします。
6. 「ドライバーをアップグレードする」をクリックし、「次へ」ボタンをクリックします。
7. 再起動するようメッセージが表示されたら、「完了」ボタンをクリックします。
8. ThinkPad の最起動後、Windows98 をロードし「新しいハードウェア」を検出します。
9. 「新しいハードウェアの追加ウィザード」ウィンドウで「次へ」をクリックします。
10. 「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する (推奨)」をチェックし、「次へ」をクリックします。
11. 「検索場所の指定」にチェックを付けます。
12. src_cd:¥drivers¥audiow9x と入力し、「次へ」ボタンをクリックします。
(src_cd は、CD-ROM ドライブを示します。)
13. 「ESS Solo PCI AudioDrive」が選択されているのを確認して、「次へ」ボタンをクリックします。
14. 「次へ」ボタンをクリックします。
15. 「完了」ボタンをクリックします。

Windows 98 用 IBM トラックポイント・ドライバーのインストール

Windows 98 用トラックポイント・ドライバーをインストールする手順は、次のとおりです。

1. Windows 98 を起動します。
2. CD-ROM ドライブに「導入済みアプリケーション CD」を挿入します。
「アプリケーションインストーラ」ウィンドウが表示された場合は、これを終了します。
3. タスクバーの「スタート」から、「設定」、「コントロール パネル」の順にクリックします。
4. 「システム」アイコンをダブルクリックします。
5. 「システムのプロパティ」ウィンドウの「デバイス マネージャ」タブをクリックします。
6. 「マウス」の左側のプラス (+) をクリックし、「PS/2 互換マウスポート」をダブルクリックします。
7. 「ドライバ」タブをクリックします。
8. 「ドライバの更新」ボタンをクリックします。
「デバイス ドライバの更新」ウィザードが起動されます。
9. 「次へ」ボタンをクリックします。
10. 「現在使用しているドライバよりさらに適したドライバを検索する (推奨)」を選択します。
11. 「次へ」ボタンをクリックします。
12. 「検索場所の指定」にチェックを付けます。
13. src_cd:¥drivers¥tp と入力し、「次へ」ボタンをクリックします。
(src_cd は、CD-ROM ドライブを示します。)
14. 「次へ」ボタンをクリックします。
15. 「完了」ボタンをクリックします。
16. Windows 98 を再起動します。

Windows 98 用内蔵モデム・ソフトウェアのインストール

手順は、次のとおりです。

1. Windows 98 を起動します。
2. CD-ROM ドライブに「導入済みアプリケーション CD」を挿入します。
「アプリケーションインストーラ」ウィンドウが表示された場合は、これを終了します。
3. タスクバーの「スタート」から、「ファイル名を指定して実行」をクリックします。
4. src_cd:¥drivers¥modem¥setup.exe と入力し、「OK」ボタンをクリックします。
(src_cd は、CD-ROMドライブ名を示します。)
5. 「ようこそ」ウィンドウで「次へ」ボタンをクリックします。
6. セットアッププログラムが自動的にモデムの削除、ファイルの更新、モデムのインストールの手順で行い、モデムをセットアップします。
7. 「セットアップ完了」ウィンドウで、「はい、直ちにコンピュータを再起動します」を選択して、「完了」ボタンをクリックします。
8. システムが再起動して、モデムのインストールが終了します。

Windows 98 用 IBM 3 モード・フロッピー・ディスク・ドライバーのインストール

Windows 98 用 IBM 3 モード・フロッピー・ディスク・ドライバーをインストールする手順は次のとおりです。

1. CD-ROM ドライブに「導入済みアプリケーション CD」を挿入します。
「アプリケーションインストーラ」ウィンドウが表示された場合は、これを終了します。
2. タスクバーの「スタート」から、「設定」、「コントロールパネル」の順にクリックします。
3. 「ハードウェアの追加」アイコンをダブルクリックします。
4. 「次へ」ボタンをクリックします。
5. 「次へ」ボタンをクリックします。
6. 「インストールするデバイスは一覧にありますか?」と聞かれたら「デバイスは一覧にない」を選択し、「次へ」ボタンをクリックします。
7. 「新しいハードウェアを自動的に検出しますか?」に対して「いいえ」を選択し、「次へ」ボタンをクリックします。(自動検出を行わないようにします。)
8. 「ハードウェアの種類」リストから「フロッピーディスク コントローラ」を選び、「次へ」ボタンをクリックします。
9. 「ディスク使用」ボタンをクリックします。
10. 配布ファイルのコピー元に `src_cd:%drivers%3fddw9x` と入力して、「OK」ボタンをクリックします。
(`src_cd` は、CD-ROM ドライブを示します。)
11. 「IBM 3 mode-Floppy」が選択されていることを確認して「次へ」ボタンをクリックします。
12. 「完了」ボタンをクリックしてドライバーのインストールを終了します。
13. Windows 98 を再起動します。

Windows 98 用ハイバネーション・ユーティリティ (PhDskWin) のインストール

手順は次のとおりです。

1. Windows 98 を起動します。
2. CD-ROMドライブに「導入済みアプリケーション CD」を挿入します。「アプリケーションインストーラ」ウィンドウが表示された場合は、これを終了します。
3. タスクバーの「スタート」から、「ファイル名を指定して実行」をクリックします。
4. src_cd:¥drivers¥hbutil¥setup.exe と入力し、「OK」ボタンをクリックします。
(src_cd は、CD-ROM ドライブを示します。)
5. 画面の指示に従います。

付録A. 特記事項

本書において、日本では発表されていないIBM製品（機械およびプログラム）、プログラミングまたはサービスについて言及または説明する場合があります。しかし、このことは、弊社がこのようなIBM製品、プログラミングまたはサービスを、日本で発表する意図があることを必ずしも示すものではありません。本書で、IBMライセンス・プログラムまたは他のIBM製品に言及している部分があっても、このことは当該プログラムまたは製品のみが使用可能であることを意味するものではありません。これらのプログラムまたは製品に代えて、IBMの知的所有権を侵害することのない機能的に同等な他社のプログラム、製品またはサービスを使用することができます。ただし、IBMによって明示的に指定されたものを除き、これらのプログラムまたは製品に関連する稼働の評価および検証はお客様の責任で行っていただきます。

IBMおよび他社は、本書で説明する主題に関する特許権（特許出願を含む）商標権、または著作権を所有している場合があります。本書は、これらの特許権、商標権、および著作権について、本書で明示されている場合を除き、実施権、使用权等を許諾することを意味するものではありません。実施権、使用权等の許諾については、下記の宛先に、書面にてご照会ください。

〒106-0032 東京都港区六本木3丁目2-31
AP事業所
IBM World Trade Asia Corporation
Intellectual Property Law & Licensing

西暦 2000 年対応および説明

製品の西暦 2000 年対応 (Year 2000 Ready) とは、その製品を関連資料にしたがって使用した場合に、1900年代から 2000 年以降にわたる日付のデータ処理、引き渡し、または受け取りを正しく行うことをいいます。ただし、その製品とともに使用されるすべての製品（たとえば、ハードウェア、ソフトウェア、およびファームウェア）が正確な日付データをその製品と正しく交換できることが条件となります。

この THinkPad は、西暦 2000 年対応商品です。

なお、お客様が、西暦 2000 年対応でないソフトウェアを使用される場合、または、処理するデータが西暦 2000 年対応でない場合には、この IBM パーソナル・コンピュータは、正しく日付データを処理することはできません。なお、この製品の西暦 2000 年

対応状況についてのご説明は、ハードウェア製品のみにも適用されるものであり、ハードウェアとともに提供されるソフトウェアの対応状況を示すものではありません。IBM は、他社製のソフトウェアの日付処理について責任を負いません。他社製ソフトウェアの日付処理、その制約または更新版については、他社製ソフトウェアの提供元にお問い合わせください。

西暦 2000 年の概要および IBM 製コンピューターの 2000 年対応状況については、IBM Year 2000 Web サイト (<http://www.ibm.co.jp/ad2000>) でご覧いただくことができます。お客様の西暦 2000 年対応作業を支援するための情報およびツールが含まれており、情報は必要に応じ更新されます。IBM では、定期的に更新情報をチェックなさるようにお勧めします。

商標

次の用語は、米国およびその他の国における IBM 社の商標です。

IBM
ThinkPad

Microsoft、Windows、Windows NT、Windows 98、および Windows 95 のロゴは、Microsoft Corporation の商標または登録商標です。

Electronic emission notices

Federal Communications Commission (FCC) Statement

ThinkPad 240

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult an IBM authorized dealer or service representative for help.

Properly shielded and grounded cables and connectors must be used in order to meet FCC emission limits. Proper cables and connectors are available from IBM authorized dealers. IBM is not responsible for any radio or television interference caused by using other than recommended cables and connectors or by unauthorized changes or modifications to this equipment.

Unauthorized changes or modifications could void the user's authority to operate the equipment. This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Responsible party:

International Business Machines Corporation
New Orchard Road
Armonk, NY 10504
Telephone 1-919-543-2193

Canadian Department of Communications compliance statement

This equipment does not exceed Class B limits per radio noise emissions for digital apparatus, set out in the Radio Interference Regulation of the Canadian Department of Communications.

Avis de conformité aux normes du ministère des Communications du Canada

Cet équipement ne dépasse pas les limites de Classe B d'émission de bruits radioélectriques pour les appareils numériques, telles que prescrites par le Règlement sur le brouillage radioélectrique établi par le ministère des Communications du Canada.

European Community directive conformance statement

This product is in conformity with the protection requirements of EC Council Directive 89/336/EEC on the approximation of the laws of the Member States relating to electromagnetic compatibility.

A declaration of Conformity with the requirements of the Directive has been signed by IBM United Kingdom Limited, PO BOX 30 Spango Valley Greenock Scotland PA160AH.

This product satisfies the Class B limits of EN 55022.

Telecommunication notice

Federal Communications Communication (FCC) and Telephone Company Requirements (Part 68 of the FCC Rules)

1. The Telephone Consumer Protection Act of 1991 makes it unlawful for any person to use a computer or other electronic device to send any message via a telephone fax machine unless such message clearly contains in a margin at the top or bottom of each transmitted page or on the first page of the transmission, the date and time it is sent, and an identification of the busi-

ness or other entity, or other individual sending the message and the telephone number of the sending machine or such business, other entity, or individual. In order to program this information into your computer, you should be sure to follow the installation instructions for your fax software package.

2. The built-in modem is built into the ThinkPad computer. It complies with Part 68 of the FCC Rules. A label is affixed to the bottom of the computer that contains, among other things, the FCC registration number, USOC, and Ringer Equivalency Number (REN) for this equipment. If these numbers are requested, look at the label and provide this information to your telephone company.
3. The REN is useful to determine the quantity of devices you may connect to your telephone line and still have those devices ring when your number is called. IN most, but not all, areas, the sum of the RENs of all devices should not exceed five (5.0). To be certain of the number of devices you may connect to you line, as determined by the REN, you should call your local telephone company to determine the maximum REN for your calling area.
4. If the built-in modem causes harm to the telephone network, the telephone company may discontinue your service temporarily. If possible, they will notify you in advance. But, if advance notice isn't practical, you will be notified as soon as possible. You will be advised of your right to file a complaint with the FCC.
5. Your telephone company may make changes in its facilities, equipment, operations, or procedures that could affect the proper operation of your equipment. If they do, you will be given advance notice so as to give you an opportunity to maintain uninterrupted service.
6. If you experience trouble with this built-in modem, contact your IBM Authorized Seller, or the IBM Corporation, 500 Columbus Avenue, Thornwood, NY 10594, 1-800-772-2227, for repair/warranty information. The telephone company may ask you to disconnect this equipment from the network until the problem has been corrected, or until you are sure the equipment is not malfunctioning.
7. No customer repairs are possible to the modem. If you experience trouble with this equipment, contact your Authorized Seller or the IBM Corporation for information.
8. The modem may not be used on coin service provided by the telephone company. Connection to party lines is subject to state tariffs. Contact your state public utility commission or corporation commission for information.
9. When ordering network interface (NI) service from the Local Exchange Carrier, specify service arrangement USOC RJ11C.

Fax branding

The Telephone Consumer Protection Act of 1991 makes it unlawful for any person to use a computer or other electronic device, including fax machines, to send any message unless such message clearly contains in a margin at the top or bottom of each transmitted page or on the first page of the transmission, the date and time it is sent and an identification of the business or other entity, or other individual sending the message and the telephone number of the sending machine or such business, other entity, or individual. (The telephone number provided may not be a 900 number or any other number for which charges exceed local or long-distance transmission charges.)

In order to program this information into your fax machine, follow the setup instructions for **RingCentral****.

Notice for Australia

The following notice applies when using the telephony functions:

FOR SAFETY REASONS, ONLY CONNECT AUSTEL PERMITTED OR CERTIFIED EQUIPMENT.

Industry Canada requirements

Notice

The Industry Canada label identifies certified equipment. This certification means that the equipment meets certain telecommunications networks protective, operational, and safety requirement. The Department does not guarantee the equipment will operate to the user's satisfaction.

Before installing this equipment, users should ensure that it is permissible to be connected to the facilities of the local telecommunications company. The equipment must also be installed using an acceptable method of communication. In some cases, the company's inside wiring associated with a single line individual service may be extended by means of a certified connector assembly (telephone extension cord). The customer should be aware that compliance with the above conditions may not prevent degradation of service in some situations.

Repairs to certified equipment should be made by an authorized Canadian maintenance facility designated by the supplier. Any repairs or alterations made by the user to this equipment, or equipment malfunctions, may give the telecommunications company cause to request the user to disconnect the equipment.

Users should ensure for their own protection that the electrical ground connections of the power utility, telephone lines and internal metallic water pipe system, if present, are connected together. This precaution may be particularly important in rural areas.

Caution

Users should not attempt to make such connections themselves, but should contact the appropriate electric inspection authority, or electrician, as appropriate.

The **Ringer Equivalent Number (REN)** assigned to each terminal device provides an indication of the maximum number of terminals allowed to be connected to a telephone interface. The termination on an interface may consist of any combination of devices subject only to the requirement that the sum of the Ringer Equivalence Number of all the devices does not exceed 5.

Avis

L'étiquette du ministère de l'Industrie Canada identifie le matériel homologué. Cette étiquette certifie que le matériel est conforme à certaines normes de protection, d'exploitation et de sécurité des

réseaux de télécommunications. Le Ministère n'assure toutefois pas que le matériel fonctionnera à la satisfaction de l'utilisateur.

Avant d'installer ce matériel, l'utilisateur doit s'assurer qu'il est permis de le raccorder aux installations de l'entreprise locale de télécommunication. Le matériel doit également être installé en suivant une méthode acceptée de raccordement. Dans certains cas, les fils intérieurs de l'entreprise utilisés pour un service individuel à ligne unique peuvent être prolongés au moyen d'un dispositif homologué de raccordement (cordon prolongateur téléphonique interne). L'abonné ne doit pas oublier qu'il est possible que la conformité aux conditions énoncées ci-dessus n'empêchent pas la dégradation du service dans certaines situations. Actuellement, les entreprises de télécommunication ne permettent pas que l'on raccorde leur matériel à des jacks d'abonné, sauf dans les cas précis prévus par les tarifs particuliers de ces entreprises.

Les réparations de matériel homologué doivent être effectuées par un centre d'entretien canadien autorisé désigné par le fournisseur. La compagnie de télécommunications peut demander à l'utilisateur de débrancher un appareil à la suite de réparations ou de modifications effectuées par l'utilisateur ou à cause de mauvais fonctionnement.

Pour sa propre protection, l'utilisateur doit s'assurer que tous les fils de mise à la terre de la source d'énergie électrique, des lignes téléphoniques et des canalisations d'eau métalliques, s'il y en a, sont raccordés ensemble. Cette précaution est particulièrement importante dans les régions rurales.

Avertissement

L'utilisateur ne doit pas tenter de faire ces raccordements lui-même; il doit avoir recours à un service d'inspection des installations électriques, ou à un électricien, selon le cas.

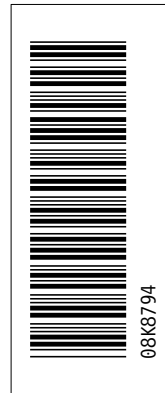
L'indice de charge (IC) assigné à chaque dispositif terminal indique, pour éviter toute surcharge, le pourcentage de la charge totale qui peut être raccordée à un circuit téléphonique bouclé utilisé par ce dispositif. La terminaison du circuit bouclé peut être constituée de n'importe quelle combinaison de dispositifs, pourvu que la somme des indices de charge de l'ensemble des dispositifs ne dépasse pas 5.



部品番号: 08K8794

Printed in Taiwan

古紙 100% の再生紙を使用しています。



日本アイ・ビー・エム株式会社
〒106-8711 東京都港区六本木3-2-12

